令和３年２月８日

令和３年度当初予算説明資料

番号	15
事業名	超高齢社会交通弱者対策調査検討事業費
予算額	7,532 千円（調査検討委託料　7,500 千円（2 か年 25,000 千円））
特定財源	－
事業の概要	買い物や通院など目的地への移動が困難な高齢者等が今よりもっと外出しやすくなるよう、既存のバス路線やタクシーなどの公共交通機関だけでなく、地域にある輸送資源を有効活用した移動手段の確保について調査、検討する。 現行の「第二次松阪市地域公共交通網形成計画」が令和４年度に終期を迎えることから、検討結果を踏まえ「松阪市地域公共交通計画」を策定する。 特に、人口減少と高齢化の進展が顕著になっている飯高管内において令和３年から２年間をかけて交通弱者の移動手段の確保充実を図る。
事業の背景など	超高齢社会にあって、最重要課題の一つが交通弱者の移動手段の確保である。 しかし、路線バスをはじめコミュニティ交通の利用者は総じて減少傾向であり、市民の交通手段の維持はこれまで以上に大きな課題となっている。 市民のニーズは、既存のバス路線やコミュニティ交通に加え、タクシー等によるデマンド方式の移動手段を求めており、限られた財源を効果的・効率的に活用した移動手段の構築が求められている。
目的・効果など	超高齢社会が進展する中、高齢者をはじめとする交通弱者が安心して移動できる環境を整備することにより、住み慣れた地域で安心して暮らすことができる。
事業スケジュール	R3.8 月頃～　委託事業者の決定、調査、検討 R4　松阪市地域公共交通計画の策定 R4　飯高管内の移動手段の見直し
添付資料	なし
備考	なし
担当課	産業文化部　商工政策課　交通政策係　電話 53-4184